

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 株式会社あさくま 上場取引所 東
 コード番号 7678 URL http://www.asakuma.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)横田 優
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)西尾 すみ子 (TEL)052-800-7781
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,384	△27.9	△695	—	△413	—	△1,578	—
2020年3月期	8,849	△6.3	224	△64.7	239	△64.7	69	△82.8
(注) 包括利益	2021年3月期 △1,578百万円 (—%)		2020年3月期 69百万円 (△82.8%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△295.69	—	△51.6	△9.1	△10.9
2020年3月期	13.27	13.13	1.9	5.1	2.5
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期 —百万円		2020年3月期 —百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,999	2,223	55.6	417.58
2020年3月期	5,063	3,896	76.9	728.99
(参考) 自己資本	2021年3月期 2,223百万円		2020年3月期 3,896百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△628	6	711	1,825
2020年3月期	53	△1,276	629	1,735

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00	79	113.0	2.2
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は、合理的な業績予想の算定を行う事が困難なことから、未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 有
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P10「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	5,376,270 株	2020年3月期	5,344,820 株
2021年3月期	50,549 株	2020年3月期	— 株
2021年3月期	5,336,803 株	2020年3月期	5,200,786 株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,486	△29.1	△325	—	△120	—	△1,401	—
2020年3月期	7,737	△5.0	252	△60.2	263	△60.6	106	△74.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△262.63	—
2020年3月期	20.56	20.35

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円			%	円 銭	
2021年3月期	3,727		2,376			63.8	446.18	
2020年3月期	4,584		3,872			84.5	724.48	

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,376百万円 2020年3月期 3,872百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年3月期の連結業績予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策により一時的に個人消費に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業収益の低下や雇用環境の悪化は続いており、極めて厳しい状況にあります。

外食業界におきましては、2020年4月の1回目の緊急事態宣言により休業や営業時間短縮等を余儀なくされ、宣言解除後にはGo to キャンペーンの効果により回復する場面もありましたが、11月以降個人消費はさらに冷え込んでおります。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に食を通じて感動を提案するエンターテインメントレストラン」という不変的な考えのもと、ステーキハウスとしての品質とお値打ち感のある商品を提供してまいりました。感染症拡大防止策を講じたうえで、もりもりハンバーグ（ハンバーグが見えなくなるほどの具を乗せたボリューム感あふれるメニュー）の販売など各種フェアを行ってまいりました。また、弁当やすき焼きセットなどのテイクアウト販売も行ってまいりましたが、自治体の要請に基づく度々の営業時間の短縮や多人数での会食の制限などが当社グループにとって大きく需要を消失させることとなり、下記の通り店舗数の減少もあり、収益に多大な影響を及ぼしました。

当第4四半期連結会計期間における店舗展開につきましては、当社の直営店及びF C店で各1店舗、連結子会社である株式会社あさくまサクセッションで8店舗、連結子会社である株式会社竹若で3店舗の退店がありました。この結果、当連結会計年度末現在における当社の店舗数は、直営店が62店舗となり、F C店5店舗を加えて67店舗となりました。株式会社あさくまサクセッションの直営店は10店舗、株式会社竹若の直営店は10店舗となり、当社グループの総店舗数は、87店舗（F C店5店舗を含む）となっております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度における業績は、売上高6,384,311千円（前年同期比27.9%減）、営業損失695,188千円（前年同期は224,256千円の利益）、経常損失413,834千円（前年同期は239,692千円の利益）、親会社株主に帰属する当期純損失1,578,040千円（前年同期は69,019千円の利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は3,999,804千円となり、前連結会計年度末に比べて1,063,639千円減少しました。

その内容は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は2,515,209千円となり、前連結会計年度末に比べて334,598千円増加しました。主な要因は未収入金が324,003千円増加したことによります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は1,484,595千円となり、前連結会計年度末に比べて1,398,237千円減少しました。主な要因は有形固定資産が620,656千円減少、のれんが522,237千円減少、差入保証金が210,966千円減少したことによります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は1,293,591千円となり、前連結会計年度末に比べて410,489千円増加しました。主な要因は短期借入金400,000千円増加したことによります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は482,322千円となり、前連結会計年度末に比べて198,275千円増加しました。主な要因は、長期借入金357,830千円増加したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計の残高は2,223,890千円となり、前連結会計年度末に比べて1,672,404千円減少しました。主な要因は利益剰余金が1,604,765千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は55.6%（前連結会計期間末は76.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較し90,099千円減少し、1,825,347千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度53,896千円の収入に対し、628,418千円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失1,551,829千円、減損損失995,882千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度1,276,565千円の支出に対し、6,799千円の収入となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入56,515千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度629,662千円の収入に対し、711,718千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の純増額400,000千円、長期借入金の借入による収入460,000千円、自己株式の取得による支出75,706千円を計上したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社の店舗がある都府県では、2021年5月14日現在緊急事態宣言の発令若しくはまん延防止等重点措置が適用されており、今後も営業期間の短縮やアルコール提供の禁止措置等が続く場合、通常レベルの営業に至るまではかなりの期間を要する可能性があります。

このような状況下では、次期(2022年3月期)の連結業績見通しにつきましては、適正かつ合理的な業績予想を算定することが困難なため、具体的な数値の公表を延期し、未定とさせていただきます。

今後、当社グループ各社の状況確認が進み、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,790,548	1,825,347
売掛金	232,806	252,669
原材料及び貯蔵品	61,586	29,044
未収入金	39,589	363,593
その他	57,424	45,194
貸倒引当金	△1,345	△640
流動資産合計	2,180,610	2,515,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,078,019	624,475
機械装置及び運搬具(純額)	113,857	75,015
土地	87,906	87,906
リース資産(純額)	73,827	—
その他(純額)	146,559	92,117
有形固定資産合計	1,500,170	879,514
無形固定資産		
のれん	522,237	—
その他	10,048	35,181
無形固定資産合計	532,285	35,181
投資その他の資産		
投資有価証券	16,601	—
繰延税金資産	37,431	—
差入保証金	726,014	515,047
その他	72,665	59,851
貸倒引当金	△2,335	△5,000
投資その他の資産合計	850,376	569,898
固定資産合計	2,882,832	1,484,595
資産合計	5,063,443	3,999,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	385,070	346,619
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	—	71,570
リース債務	21,777	20,143
未払法人税等	2,516	29,909
賞与引当金	21,000	13,000
株主優待引当金	10,953	16,130
資産除去債務	—	61,787
その他	441,784	334,430
流動負債合計	883,101	1,293,591
固定負債		
長期借入金	—	357,830
リース債務	58,203	33,393
資産除去債務	110,851	52,728
その他	114,991	38,370
固定負債合計	284,046	482,322
負債合計	1,167,148	1,775,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	857,550	861,583
資本剰余金	934,621	938,655
利益剰余金	2,104,123	499,358
自己株式	—	△75,706
株主資本合計	3,896,295	2,223,890
純資産合計	3,896,295	2,223,890
負債純資産合計	5,063,443	3,999,804

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,849,866	6,384,311
売上原価	3,585,327	2,685,240
売上総利益	5,264,539	3,699,070
販売費及び一般管理費	5,040,282	4,394,259
営業利益又は営業損失(△)	224,256	△695,188
営業外収益		
受取利息及び配当金	183	764
協賛金収入	12,339	10,930
助成金収入	—	257,316
その他	5,148	32,991
営業外収益合計	17,671	302,003
営業外費用		
支払利息	—	4,447
リース料	—	6,855
現金過不足	792	640
和解金	1,020	—
貸倒引当金繰入額	—	5,000
その他	422	3,707
営業外費用合計	2,235	20,650
経常利益又は経常損失(△)	239,692	△413,834
特別利益		
補助金収入	—	17,645
資産除去債務戻入益	1,060	—
投資有価証券売却益	5,999	—
その他	—	11,179
特別利益合計	7,059	28,824
特別損失		
店舗休止損失	—	40,410
固定資産売却損	—	20,253
減損損失	73,256	995,882
店舗閉鎖損失	4,216	109,667
その他	—	605
特別損失合計	77,472	1,166,819
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	169,279	△1,551,829
法人税、住民税及び事業税	99,232	33,460
法人税等還付税額	—	△44,680
法人税等調整額	1,027	37,431
法人税等合計	100,260	26,211
当期純利益又は当期純損失(△)	69,019	△1,578,040
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	69,019	△1,578,040

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	69,019	△1,578,040
包括利益	69,019	△1,578,040
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	69,019	△1,578,040

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	515,000	592,071	2,088,058	—	3,195,130	3,195,130
当期変動額						
新株の発行	342,550	342,550			685,100	685,100
剰余金の配当			△52,954		△52,954	△52,954
親会社株主に帰属する当期純利益			69,019		69,019	69,019
自己株式の取得					—	—
当期変動額合計	342,550	342,550	16,065	—	701,165	701,165
当期末残高	857,550	934,621	2,104,123	—	3,896,295	3,896,295

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	857,550	934,621	2,104,123	—	3,896,295	3,896,295
当期変動額						
新株の発行	4,033	4,033			8,067	8,067
剰余金の配当			△26,724		△26,724	△26,724
親会社株主に帰属する当期純利益			△1,578,040		△1,578,040	△1,578,040
自己株式の取得				△75,706	△75,706	△75,706
当期変動額合計	4,033	4,033	△1,604,765	△75,706	△1,672,404	△1,672,404
当期末残高	861,583	938,655	499,358	△75,706	2,223,890	2,223,890

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	169,279	△1,551,829
減価償却費	173,030	202,895
のれん償却額	17,339	41,019
減損損失	73,256	995,882
店舗閉鎖損失	4,216	109,667
店舗休止損失	—	40,410
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△260	1,959
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△8,000
株主優待引当金の増減額(△は減少)	10,953	5,177
受取利息及び受取配当金	△183	△764
支払利息	—	4,447
売上債権の増減額(△は増加)	111,592	△19,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,920	32,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△236,592	△38,450
助成金収入	—	△257,316
未払消費税等の増減額(△は減少)	208	△52,940
その他	△68,366	△179,519
小計	262,394	△674,682
利息及び配当金の受取額	183	764
利息の支払額	—	△4,447
法人税等の支払額	△208,681	49,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,896	△628,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	56,515
有形固定資産の取得による支出	△345,293	△27,473
無形固定資産の取得による支出	△2,177	△28,050
投資有価証券の売却による収入	6,000	16,487
短期貸付けによる支出	△26,500	—
長期貸付けによる支出	△693,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△117,505	—
差入保証金の差入による支出	△49,073	△2,473
差入保証金の回収による収入	14,988	44,991
その他	△63,505	△53,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,276,565	6,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	400,000
長期借入れによる収入	—	460,000
長期借入金の返済による支出	—	△30,600
株式の発行による収入	685,100	8,067
自己株式の取得による支出	—	△75,706
配当金の支払額	△52,764	△26,656
リース債務の返済による支出	△2,672	△23,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	629,662	711,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△593,006	90,099
現金及び現金同等物の期首残高	2,328,255	1,735,248
現金及び現金同等物の期末残高	1,735,248	1,825,347

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「流動資産」の「その他流動資産」に含めていた「未収入金」は、資産の総額の100分の5を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他流動資産」に表示していた97,014千円は、「未収入金」39,589千円、「その他流動資産」57,424千円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用について見積りの変更を行いました。この見積りの変更に伴い増加額94,981千円を資産除去債務に加算しております。

なお、この見積りの変更に伴って計上した有形固定資産の全てについて減損損失を計上したため、当連結会計年度の税金等調整前当期純損失が94,981千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、飲食事業の単一セグメントであり、重要性が乏しいため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	728.99 円	417.58 円
1株当たり当期純利益金額	13.27 円	△295.69 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	13.13 円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	401,745	△1,578,040
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	401,745	△1,578,040
普通株式の期中平均株式数(株)	4,710,420	5,336,803
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権)(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,195,130	2,223,890
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,195,130	2,223,890
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,710,420	5,325,721

(重要な後発事象)

該当事項ありません。